見附市立南中学校学校だより１月号

南中だより

令和７年１月８日

教育目標　自主・協和・錬磨

電話　0258-62-0987　　ＦＡＸ　0256-62-0483
Mail　minami@mitsuke-ngt.ed.jp
Homepage　www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

大人になるための努力を⑧

「規矩作法　守り尽くして破るとも離るるとても本を忘るな」～千利休の言葉から学ぶ～

南中学校長　有本　千晴

明けましておめでとうございます。令和６年度第３学期が始まりました。私は、「３学期は未来の自分の出発点」であると考えます。今年も、同じ気持ちで新しい年を迎えました。

私は、大学で茶道のサークルに所属していました。正月明けの最初の活動は、「初釜」でした。「初釜」は、新年最初のお茶会です。人前で作法やお手前を披露する機会なので、いつも年末には先生をお呼びして御指導いただきました。先生は、稽古で私の作法を御覧になられて、「千利休は、『守りつくして、破るとも、離るるとても、本(もと)を忘れるな』という言葉を残しています」というお話をしてくださいました。千利休の教えを和歌にしてまとめた『利休道歌』（『利休百首』）にあり、「守破離」を歌にしたものです。これは武士道や武道の精神を表す言葉で、次のような意味を持ちます。

守りつくして:まずは基本をしっかりと守り、徹底的に学び、実践すること。
破るとも:基本を十分に理解し、習得した後は、それを超えて新しい方法や技術を探求し、発展させること。
離るるとても:最終的には基本から離れ、自由に応用できる境地に達すること。
本(もと)を忘れるな:しかし、どんなに発展し、応用が進んでも、常に基本を忘れず、その根本を大切にすること。

この言葉は、学びや成長の過程において、基本を大切にしつつも、常に新しい挑戦を続けることの重要性を説いています。茶道の先生は、「何事においても基本的なことから習い始める。しかし、それはあくまで基礎に過ぎず、手馴れてきたり、よりよくしたりしようとするために、自分らしさが出てくる。中には、基礎とかけ離れていくことをするようなこともある。そうして変わる中でも、習い始めたときの『初心』を忘れてはいけない」ということを、私に教えてくださいました。茶道を習い始めて１年半くらいになった頃であり、自己流になりかけていた私の作法や点前を直すためでした。

「初心忘れるべからず」という言葉にも通じる意味をもつ千利休のこの教えは、基礎・基本に立ち返ることの大切さを示しています。先生は、いつも千利休の言葉を引用して、茶道の精神をお話しくださいました。「目標」を達成するためにいろいろと「手段」を選択して練習していたはずなのに、目標の達成が遠すぎたりすると、試行錯誤の末に基礎・基本を忘れてしまい、肝心の目標の達成が遅れます。茶道の稽古を思い出し、折に触れて基礎・基本を確かめることを、生徒に伝えたいと思います。

学校では、２学期の生徒の学校生活アンケートや保護者の皆様の学校評価アンケート、教職員アンケートなどの結果を見て、３学期の方策をつくり実施します。それは、来年度に向けた改善の布石でもあります。今日の始業式で、来年度によりよい自分になって新しい学年を始めることができるように、「自分は、何について、どのようなことを、どのような立場で頑張りたいか？活躍したいか？」を考えて、新年の抱負や３学期の目標を決めるよう話しました。３学期の教育活動を、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら進めて参ります。今年もよろしくお願い申し上げます。

南中生の活躍

※氏名は紙面に掲載しました。

【令和６年度見附スクールアート展出品生徒】

平面	２年生	８名
	３年生	12名
立体	１年生	８名
	２年生	12名
	３年生	８名

降雪期における事故防止の徹底について

降雪期は、積雪や路面等の凍結に起因する事故に遭遇する危険性が高くなります。過去に雪遊びや除雪中、下校途中に足を滑らせ川や流雪溝に転落したりするなど、尊い命が失われる痛ましい事故が発生しています。

積雪状況を踏まえ、積雪時の通学路の安全確保と事故防止のため、次のことをお子様に御指導くださいますようお願いします。

1　貯水池の周辺や用水路など水がある場所には、積雪状況にかかわらず、絶対に立ち入らない。
2　積雪や雪庇により、隠れて見えにくくなった川や池等の岸や道路脇の雨水溝や流雪溝等の境界では、足を踏み外して転落する恐れがあることから、絶対に近づかない。
3　一見すると凍結しているように見えるプールや池であっても、人がその上に乗ることは極めて危険であり、絶対に行かない。
4　危険な場所に立ち入ろうとする、危険な行為をする等の仲間を見つけたら、制止するようお互いに声をかけ合う。
5　雪の下には、思わぬ危険物が置かれている場合もある。飛び乗ったり、仲間を押したりしてケガや事故につながる行動をしない。

これからの主な学校行事

※予定は変更されることがあります

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等
1	8	水	第３学期始業式	1	23	木	計算テスト
	9	木	教育相談（～1/24）		24	金	英語検定
	10	金	学習規律強調週間（～1/17）		27	月	定期テスト前放課後活動停止（～2/3）
			３年生学習の確認テスト		28	火	学習補充教室
	15	水	生徒の集い　専門委員長委嘱式				清掃交代
	16	木	漢字テスト				古紙搬出作業
	17	金	入学説明会		29	水	専門委員会
	20	月	「My 健」（～1/24）		31	金	心のアンケート
			家庭学習強調旬間（～1/31）				学習補充教室
	22	水	３年生進路面談（～1/24）				

「学校のきまりを考える会」

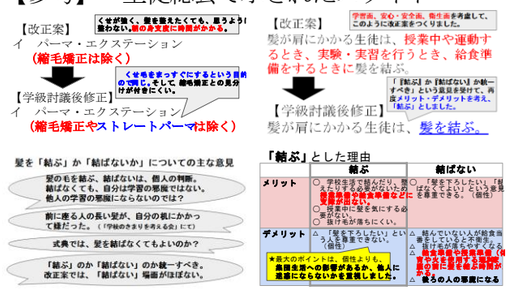
昨年度末に組織された「学校のきまりを考える会」は、12月６日（金）第２回生徒総会で新しいきまりを提案し、承認されました。第１回生徒総会で、靴下のきまりが承認されたことに続いての新しいきまりの承認でした。今回のきまりは、髪型、夏の体操着、肌着について、６月から11月まで生徒のアンケート結果や専門委員会の協議と報告を重ねながら、11月17日（日）「見附子育て教育の日」での異学年グループに保護者のオブザーバーが加わった話し合いを実施した上で、生徒会総務の熟議を経て提案されました。

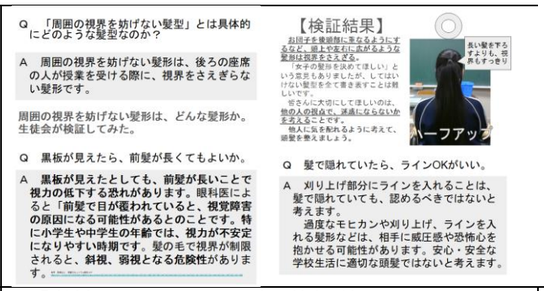
これらの提案は、教職員も賛成しました。令和７年１月８日（水）から、新しいきまりのとおりに学校生活を送ります。御家庭でも、このことを御理解いただき、お子様への御指導をお願いします。

校則を改正するときに、大切にしてほしいこと

- ○ **合理的な理由があり、説明できる。**
  信頼される学校であるために、先生や保護者からの理解や納得が得られる。
- ○ **自他共に学習に集中できる。中学校は、自分を成長させる場所であり、進学や就職の準備をするところであることを忘れない。**
- ○ **他者の権利を尊重し、公共のマナーを守れるきまりにする。**
- ○ **一人一人の意見に耳を傾ける。少数意見の尊重。**

１　「学校のきまり」新旧対照表（改正前と改正後の比較）

項目	改正前	改正後
１ 頭髪	（１）　基本方針 ①　中学生らしくきちんと ②　清潔でさっぱりと ③　安全・健康面に考慮した ④　動きやすい （２）　きまり ①　髪の着色や脱色、編み込みなどをしない。 ②　目や肩にかかる長さになったら、髪を切ったり、一つにまとめたりする。 ③　髪留めの色は、黒・紺・茶系統とする。 【参考】　生徒総会で示されたスライド 	（１）　基本方針 ①　南中の一員として、学習面、安心・安全面、健康面を考えた頭髪にする。 ②　①を受けて、次のことを禁止する。 ア　染色・脱色 イ　パーマ、エクステンション ※縮毛矯正やストレートパーマは除く。 ウ　刈り上げ部分にラインを入れること エ　極端なモヒカンや極端に左右非対称な髪形 （２）　きまり ①　前髪は、髪で目が隠れないようにする。 参考：医療法人　須賀川セントラル眼科HP ②　髪が肩にかかる生徒は、髪を結ぶ。 ③　周囲の人の視界を妨げないような髪形や結び方にする。 ④　髪を整えることで、始業や授業開始の時間に遅れない。また、トイレや鏡を長時間利用しない。 ⑤　ヘアピンやゴムの色は、黒・紺・茶系統とする。 ⑥　ヘアピンは６個以内とする。安全に配慮するべきときは、ヘアピンを外す。 ⑦　装飾の付いた髪飾りやヘアネット、カチューシャ、シュシュなどを着用しない。

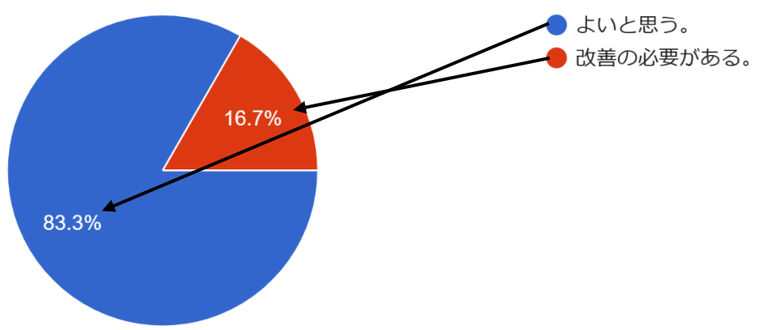


２ 夏の体操着	「学校のきまり」に夏の体操着についてのきまりがないため、右のとおり新たに追加する。	（１）　夏の体操着で登校する時期 ①　夏の衣替えの完了期間（６月上旬～衣替え完了日）に合わせ、夏の体操着で登校してもよい。 ②　気温や体調に合わせて、個人で判断して長袖の体操着を着用してもよい。 （２）　夏の体操着の裾をズボンに入れるか（シャツ出し）について ①　原則として入れるが、ＷＢＧＴの規定温度（熱中症警戒暑さ指数25以上）になったら、シャツを出してもよい。 ②　運動するときに熱中症が心配されるようなときは、個人の判断でシャツを出してもよい。
３ 肌着について	（１）　色やデザインについて その下に着る下着類は、色が透けないものを着用する。 （２）　肌着の長さについて ①　原則として、裾口、袖口、首元からはみ出さないように着る。 ②　冬服への移行期間からは、長そでの着用はしてもよい。	（１）　色やデザインについて ①　白、黒、紺、グレー、ベージュとする。 ②　無地を基本とする。 ③　小さなワンポイントは入っていてもよい。 （２）　肌着の長さについて ①　原則として、裾口、袖口、首元からはみ出さないように着こなす。 ②　冬服への移行期間からは、長そでを着用してもよい。

２　「学校のきまりを考える会」に御参加くださった保護者の感想

（１）　話し合い（進め方や意見の発表の様子、オブザーバーの役割など）について

12件の回答



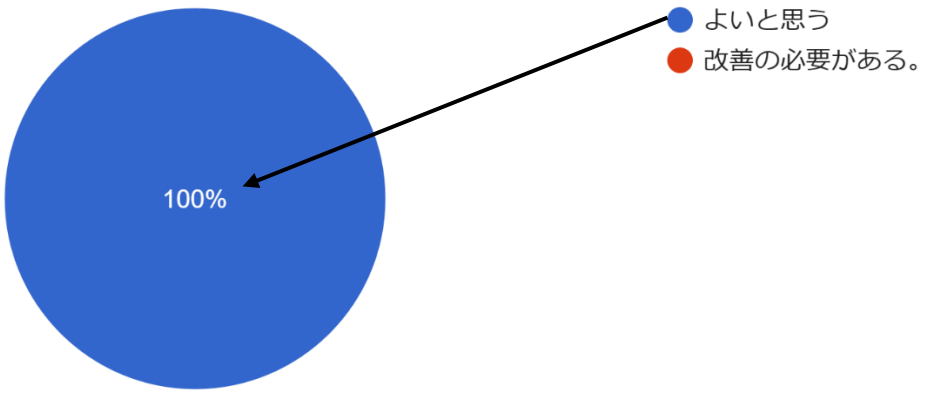
（2）　（1）で「改善の必要がある」を選んだ方は、改善点を御記入ください。

○　保護者が介入する、しないで温度差は多少あると思うので、オブザーバーが何をするか、初めに説明があった方が良いのでは？ただ座っている大人がいても、子供からは「この人は、何故いるのか」という状態だったと思う。

○　出された意見をただ読むのではなく、内容をまとめて発表できたらよかったです。

（3）　生徒会の提案内容について

12 件の回答



（4）　（3）で「改善の必要がある」を選んだ方は、改善点を御記入ください。

意見なし。

（5）　「学校のきまり」について、保護者として日頃から思うことがあるときは御記入ください。

5 件の回答

○　天候や時期に応じて体操着での登校ができると、安全性や快適性の面でよいのではないかと思います。

○　肌着の色について、きまりがあることに驚きました。冬は寒いので、ベストはもちろんですが、風邪やインフルエンザ対策としてもタートルなど首をあたためることも御検討いただけますと幸いです。

○　「現在の校則的なものを生徒達は確実に守っているか？」と言われればきっと守れていないのではないかなと、一保護者としては思います。特に、髪型はけっこう“ゆるめ”ではないでしょうか？男子はともかく、女子の前髪の長さはきまりがあるようでないかな？と。数年前は風紀委員会があった記憶があり、生徒同士で校則を守るようにしていたと思います。昔ながらの校則を今風にかえていくことも大事ですが、取締りではないですが、きまりを守ることをしあう体制もあった方がよいのではと思いました。

○　前提として制約がありましたが、イスラム教徒だったらどうするか？宗教だけで抑えられるのか？パブリックマインドやプライベートマインドが根底にないと、きまりを決めるのは難しいと思いました。

○　きまりには理由があることを、子供達に理解してほしいと思いました。その上で不要なことや時代に合ってないことは変えていけばいいし、必要なことは守ってほしいと思いました。

（6）　本日の会について、御感想や御意見を御記入ください。

12 件の回答

○　本日は、貴重な機会に参加させて頂き、ありがとうございます。校則を見直す。新しい企画だと思います。今回を通じて、班長がファシリテーターとなり、話し合いを進めていく。後輩もまた、進行の仕方なども学んだりできることはないか、考えたりされてるのをみて、感動しました。また、活発に意見が出たり、新しい視点での気付きが生まれたりと素晴らしい活動だと感じました。今の時代、大学にいく時代ではないからこそ、雇用されたり事業を作り出していくだけでない選択肢として、アイデアを作り出したり、仕組みを生み出したりしていくことには、コミュニケーション能力は欠かせません。可能性を引き出してあげることや当たり前の価値観を変える取り組みへ繋がることこそが、求められてるのかなと感じま

した。いつもいろいろ考えていただき、ありがとうございました。

○　小学校と中学生で分散された人もいるのだろうが、分けて行うことも家庭によっては必要なのでは？両方で何か担当している親御さんもいるかと思いましたので。

○　生徒の一生懸命な議論の姿に立ち会えてよかったです。ありがとうございました。

○　子ども達と学校のことに対して一緒に考えられる時間が取れてよかったです。今後も何かあればこんな会を開いていけたら、良い環境でＰＴＡを繋いでいけると感じました。

○　もう少し保護者参加で意見を取り入れても良いと思います

○　保護者が中学生の頃は、学校のきまりというのは学校側が一方的に決めたルールを、当たり前のように校則だから守っていました。今日、この会に参加して、生徒一人一人が考えて意見を出し合っていたのに感心しました。今時の時代もあり、新しい学校のきまりを楽しみにしています。

○　今回初めての参加でしたが、今子ども達がどのように考えているのか。また、自分達で校則を決めることは、とてもいい機会だと感じた。子ども達の中で意見の差は出たものの、どこまでが自由にしていきたいかなど、よかったと思う。この会を通じて、生徒会はもちろん、先生方も積極的に意見を取り入れていただきたいと思う。ありがとうございました。

○　感想を申し上げます。一言でいうと、「中学生、立派ですね!」と言いたいです。特に生徒会の皆さんの活動力は素晴らしいと思います。会に参加させてもらってとても楽しかったです。ただ、異学年で集まって班をつくっての話し合いでしたので、１年生の男子あたりは我関せず状態になってしまっていたり、同級生男子と違うおしゃべりを始めたりして。３年生は必死に話し合いの意見をまとめようと頑張っていたのと対照的で、しょうがないかと思いますが、少し淋しい気持ちになりました。

○　生徒の皆さんが、自分達の校則をどうしたいのかきちんと考えていることに感心しました。特に、女子の皆さんはどうしたいのか明確に自分の意見をもっており、それが正しいか校則に当てはまるのかは別としても、きちんと意見をもっていることが素晴らしいと思いました。これからまた話し合いを重ねて、よりよい校則が作られること期待しております。ありがとうございました。

○　生徒達で、きまりについて学年を超えて話し合うのはよいと思いました。

○　この会の目的を保護者側にも教えておいていただけると、もう少し違った見方ができたかなと思いました。

南中生の活躍

※氏名は紙面に掲載しました。

令和６年度全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会長岡地区大会　優秀賞
第 74 回「社会を明るくする運動」作文コンテスト　中学生の部　　優秀賞
令和６年度「税についての作文」　見附市租税教育推進協議会長賞
2024 全日本ジュニアスキー選手権大会スノーボード競技・スノーボードクロス
競技成績優秀賞
第 48 回新潟県アンサンブルコンテスト　中学生の部
県大会　　金賞　　打楽器八重奏　新潟県代表選考会出場
金賞　　サクソフォーン四重奏　新潟県代表選考会出場
代表選考会　　金賞　　打楽器八重奏
金賞　　サクソフォーン四重奏　西関東アンサンブルコンテスト出場

【令和６年度見附スクールアート展出品生徒】
平面　　１年生　　10 名